

小学6年生が八幡の竹を使ってエジソンの電球作りの再現実験に挑戦

昨年（平成27年）9月、一通のメールが「京都竹カフェ」から転送されて来ました。千葉県の小学5年生のお嬢さんから、「エジソンの伝記を読んで、八幡の竹を使った電球作りの過程を再現し、論文に纏めたいので八幡の竹を入手したい」との主旨で、八幡たけくらぶで対応してあげてほしいとの事でした。

昨年11月、島田フィールドのマダケを二節分送ってあげたところ、今年（H28年）10月、ほぼ1年がかりで、本格的な研究論文の形式で、中間報告の形ですが、分厚いファイルが届きました。

たけくらぶとして、幾らかのアドバイスはしましたが、実験の進め方、データの纏め方など小学6年生とは思われないほどの充実ぶりでした。

0.3mmの竹ヒゴ作り、オーブンを使っての竹ヒゴの炭化、広口ビンに組み込んでの通電試験等々。最終的な結果はまだ完成までには至っていませんが引き続いて協力して行こうと思っています。

12月3日にはたけくらぶの活動体験と、我々と共にアドバイスをしてきた「京都竹カフェ」の代表である同志社大学藤井教授訪問のため親子で来京され、上林フィールドでは始業ミーティングから参加、展望の館訪問後、同志社大学では竹の炭化フィラメントでの点灯実験をしました。



12月3日上林F.にて 中央左が小6年生



指導を受けながら竹伐り体験



同志社大学にて点灯実験 中央は藤井教授



広口ビンでの点灯実験